

1. まずは日ごろから準備を！

側溝・雨水ますの点検

ごみや落ち葉などが詰まっていなかを点検し、取り除いておきましょう。

避難場所・ルートの確認

大雨時の浸水予想場所等を記載した「江東区大雨浸水ハザードマップ」、荒川の氾濫を想定した「江東区洪水ハザードマップ」で、浸水が予想される場所を確認しておきましょう。また3階建て以上の建物や避難経路の確認もしておきましょう。
※2つのマップは区役所や各図書館等で配布しています(区ホームページからも閲覧可)。

持ち出し品準備と備蓄点検

避難時の持ち出し品を準備しましょう。食料等は定期的に点検しましょう。



▲江東区大雨浸水ハザードマップ ▲江東区洪水ハザードマップ

2. 大雨が予想されるときは情報収集！

テレビ・インターネット

最新の気象情報で降雨状況や警報の発令等を確認しましょう。「大気の状態が不安定」といった表現がある場合には特に注意が必要です。

東京アメッシュ

降雨状況を雨の強さとあわせて確認できます(HP <http://tokyo-ame.jwa.or.jp/> (左記二次元コードからも入れます)。



雨量計情報

都内に設置している雨量計の観測情報をリアルタイムに情報提供しています。東京都建設局ホームページ(HP <http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/>)からご覧になれます(右記二次元コードからも入れます)。



こうとう安全安心メール

気象警報や記録的短時間の大雨情報などを入手できます。登録方法は3面欄外をご覧ください。

3. いざという時には！

家にいるとき

下水管の排水能力を保つため、洗濯機等の使用を控えましょう。

外出先で遭遇したら

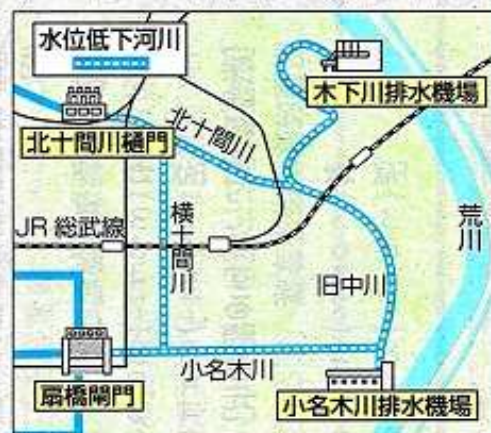
マンホールから水が噴出するなどの危険があります。すぐに屋内に避難しましょう。地下には雨水が流入する可能性があるので避けましょう。また、自動車の運転は控えましょう。

水辺にいる際は避難を

河川敷等にいる場合は、急に水位が上昇する可能性があります。ただちに避難してください。

内部河川の遊歩道も要注意

区の東側にある小名木川、旧中川、北十間川、横十間川は、河川の水を排水機場から荒川に吐き出して水位を下げ、遊歩道を歩けるようにしています。東京都では平成31年度末完了を目指し、排水機場等の河川施設の耐震補強工事を進めています。大雨時は川の水が増えて危険なので遊歩道に立ち入らないでください。☎ 東京都江東治水事務所特定施設建設課工務担当 ☎5875-1067、FAX3637-1592



土のうを配付

浸水被害を防ぐため、6月～10月に土のうをおもに戸建住宅の希望者に配付しています。台風接近時等の直前対応は困難ですので、この機会をご利用ください。配付した土のうは、個人で管理・不要時の処分をお願いします。また、袋が破れたときには、袋のみの配付も行っています[6月受付分の配送日]7月上旬の区が指定する日 ④ 6/29 (金) ⑤ 電話で河川公園課工務係 ☎3647-2538、FAX3647-9216

